



基本領域 麻酔科専門研修

連携

- 京都大学医学部附属病院麻酔科専門研修プログラム
- 神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科専門研修プログラム
- 大津赤十字病院麻酔科専門研修プログラム

1. 麻酔科の理念・特色

理念：麻酔科医の使命は手術を受ける患者の守り人になることである。第一の使命は周術期における患者の生命を安全に守ること。そのために麻酔科医は患者の状態を常に監視し、臨機応変に対応しなければならない。第二の使命は、様々な手技や薬剤を駆使して、周術期を通じて手術侵襲や術後疼痛などのストレスから患者を守ることである。

すなわち、麻酔科学とは周術期生体管理医学でありかつ侵襲反応制御医学であるという理念をもとに医療を実践して、地域住民の健康と福祉に貢献したい、と考えている。

特色：当院は但馬地方のみならず、京都府北部から鳥取県の一部まで含めた医療圏の中核病院であり、外科系の各科も充実している。したがって、乳幼児から超高齢者まで幅広い年齢層の患者の麻酔管理を経験できる。また様々な全身疾患を合併した患者の全身管理を行う機会も多い。救命救急センターや周産期医療センターも併設しているため、緊急症例の割合が非常に高い。時には生命の危機に瀕した患者の麻酔を行うこともある。

症例数は豊富であり日常業務は多忙であるが、われわれは日々、文献抄読や学会参加・発表などを通して最新の麻酔科学を探求している。また臨床研究も意欲的に行っている。

2. 目標・プログラム

ア. 目標とする医師像

十分な専門領域の知識と技量、適切な臨床的判断能力および問題解決能力を持つ医師。

医の倫理に配慮し、患者本位の医療を施すことができる医師。

日々進歩する医学・医療に遅れることなく、自己を研鑽する向上心を持つ医師。

イ. 経験できる診療、技術

A) 血管確保

- ・末梢静脈カテーテル挿入
- ・中心静脈カテーテル挿入
- ・動脈カテーテル挿入

B) 気道管理

- ・気道確保
- ・マスク換気
- ・気管挿管
- ・分離肺換気
- ・ラリングアルマスク
- ・気管支ファイバースコープ

C) モニタリング

- ・心電図
- ・非観血的血圧測定
- ・観血的血圧測定
- ・パルスオキシメーター
- ・カプノメーター
- ・体温モニター
- ・脳波モニター
- ・脳血流モニター
- D) 血液採血
- ・静脈血採血
- ・動脈血採血

E) 治療手技

- ・導尿
- ・胃管挿入
- ・気管内吸引
- ・輸液
- ・輸血
- ・心肺蘇生
- F) 機器点検および使用
- ・麻酔器
- ・人工呼吸器
- ・シリンジポンプ
- ・輸液ポンプ
- ・超音波装置(経食道心エコーを含む)

G) 鎮痛法

- ・鎮痛法の選択
- ・脊髄くも膜下麻酔・硬膜外麻酔
- ・仙骨硬膜外ブロック
- ・末梢神経ブロック(超音波ガイド下)
- ・経静脈的自己調節鎮痛法(IV-PCA)

3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
早朝 8:15~8:45	カンファレンス・症例検討・ 文献抄読・学会予演会等					緊急手術 麻酔業務 オンコール 月1回程度
午前 9:00~	手術麻酔業務					
午後 ~17:15						
時間外	手術延長の場合、引き続き麻酔業務 緊急手術麻酔業務(オンコール週1回程度)					

4. 指導医・スタッフ

部長 しょうだ たけひろ
正田 文裕

医長 こうの たかし
高野 貴司

医長 しみず だいすけ
清水 大介

医長 かげやま なる
蔭山 成

出身 京都大学 H3
京都大学医学博士 H14

出身 朝日大学 H12

出身 朝日大学 H18

出身 東北大学 H19

専門	麻酔全般
認定	麻酔科標榜医, 日本専門医機構認定麻酔科専門医, 日本麻酔科学会認定指導医, 臨床研修指導医

専門	歯科麻酔
認定	日本歯科麻酔科学会認定医

専門	歯科麻酔
----	------

専門	麻酔・産科麻酔
認定	麻酔科標榜医, 日本専門医機構認定麻酔科専門医, 日本麻酔科学会認定指導医, 日本母体救命システム普及協議会ベーシックコース, 臨床研修指導医

医長 はやしともこ
林 知子

医員 おかむら しょうへい
岡村 章平

医員 たい あやの
田井 綾乃

出身 朝日大学 H19
岡山大学歯学博士 H24

出身 高知大学 H25

出身 滋賀医科大学 H26

専門	歯科麻酔
認定	日本歯科麻酔科学会認定医

専門	麻酔全般
認定	麻酔科標榜医, 日本麻酔科学会認定医

専門	麻酔全般
認定	麻酔科標榜医, 日本麻酔科学会認定医, 日本周術期経食道心エコー認定医

5. 診療施設

中央手術室 7 室、救急外来に緊急手術室 1 室、血管造影室 1 室
フィリップス社製自動麻酔記録モニター

麻酔器

Dräger 社製 Fabius Tiro 2 台, Perseus 6 台

HFJV

泉工医科工業社製 メラ高頻度ジェットベンチレーター JP-1

超音波装置

GE 社製 Vivid S-70
LOGIQ eV2

SonoSite 社製 SonoSite iLook 25 Series Personal Imaging Tool

SonoSite 社製 SonoSite S-II

ビデオ喉頭鏡

PENTAX 社製 AIRWAY SCOPE AWS-S100 2 台, AWS-S200 1 台

アコマ社製 KingVision 3 台

コヴィディエン社製 McGRATH MAC ビデオ喉頭鏡 2 台

ビデオファイバーシステム

KARL STORZ 社製 C-MAC Monitor



麻酔科領域

6. 診療実績

手術件数

総手術件数	4,144
麻酔科管理件数	2,561

(2019 年度)

麻酔科管理症例

	症例数
全身麻酔(吸入麻酔)	1,661
全身麻酔(全静脈麻酔)	358

全身麻酔(吸入麻酔)＋硬膜外麻酔・脊髄麻酔・伝達麻酔	256
全身麻酔(全静脈麻酔)＋硬膜外麻酔・脊髄麻酔・伝達麻酔	41
脊髄麻酔＋硬膜外麻酔	1
硬膜外麻酔	3
脊髄麻酔	231
伝達麻酔	0
その他	10
合計	2,561

(2019 年度)

特殊症例別の麻酔件数(各専攻医の経験必須症例数)

	症例数	経験必須症例数
小児(6歳未満)の麻酔	62	25
帝王切開術の麻酔	93	10
心臓血管手術の麻酔(胸部大動脈手術を含む)	1群	25
	2群	
胸部外科の麻酔	62	25
脳神経外科の麻酔	125	25

(2019 年度)

7. 学会認定施設

日本麻酔科学会認定病院

専攻医を終えて

豊岡病院で専攻医として、2016年4月から3年間研修をさせて頂きました。

豊岡病院はここ但馬地域唯一の大きな病院で、外科、整形外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科、産婦人科、救急科、形成外科など主要な科は揃っているため、硬膜外麻酔併用の全身麻酔、各種神経ブロック、開心術、開胸術、開頭術、帝王切開、小児の麻酔、緊急症例の麻酔などなど毎日さまざまな症例をメインで担当させて頂きました。

リスクの低い症例は一人で任せてもらいつつ、手技がうまくいかない時や判断に迷う時には上級医に助けをもらえる環境で、日々勉強！の毎日でした。

専攻医としての研修先を選ぶのに、大学病院など同期がたくさんいる病院を選んだ方がよいかと考えていた時もありました。しかし、実際豊岡病院で働き始めると、症例を独り占めできる、上級医の指導が手厚いといった専攻医の数が少ないメリットばかりで、この病院を選んで本当に良かったと思っています。希望すれば京都大学病院や市中病院のICUで研修することも可能です。私も短期間ではありますが京都大学病院



で研修させて頂き、大学病院でしか経験できないような移植手術や新生児に対する手術の麻酔に携わりました。また、今の豊岡病院には臨床研究に熱心な先生がおられるので、日々の業務をこなしつつ、研究や学会発表もさせて頂きました。過去の日本麻酔科学会や関西支部学術集会では優秀演題に選んで頂き発表しました。

私生活では子どもを2人育てています。豊岡病院には院内保育があるので、育児休暇後も安心して復帰することができました。豊岡は自然豊かで海も近い山も近い、食べ物もおいしいのでのびのび子育てできるんじゃないかと考えています。意外と子どもの数も多いんですよ。麻酔科に興味のある方、豊岡に興味のある方、是非一緒に豊岡病院で学びましょう！

医員 田井 綾乃